

■「入門ミクロ経済学」シラバス

- ・節と授業の回数は同じです。
- ・1節が1コマ(90分)の授業内容に相当します。1回1節で授業は完結します。
- ・章及び節の構成は、授業しやすいようにまた理解しやすいように構成されていますので、節の順序どおりに授業できます。
- ・半期コースの場合は第14節(14回)までが目安になります。
- ・半期コースの場合は第12節(12回)までにして、途中で中間テストなどを入れることも可能です。
- ・受講する学生は、授業前に該当の説を予習し、授業は復習することが重要です。
- ・各章の理解を深めるために、章末の練習問題を解いてください。
- ・章末の練習問題の詳しい解説はウェブで確認することができます。

- * 通年授業(4単位)の場合は前期で初めの13回分と期末試験、後期は次の13回分と学年末試験で、4単位26時間プラス2回の試験。
- * 半期授業(2単位)の場合は7回分と中間試験、次の5回と期末試験で12回分、2単位12時間プラス2回の試験。
または半期授業(2単位)の場合は14回分、2単位14時間プラス1回の試験。

	節と回数	授業タイトル	学習のポイント	参考頁
第1章	1回	ミクロ経済学ではどのようなことを学ぶのか	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学の目的を理解する ・合理性について理解する ・経済学の応用について理解する 	8-12
第2章	2回	需要曲線の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・需要曲線の意味するところを知る ・需要の価格弾力性という概念を理解する ・価格弾力性と収入との関係を理解する ・需要曲線をシフトさせる要因を知る 	14-19
	3回	消費者行動と需要曲線	<ul style="list-style-type: none"> ・効用と限界効用という概念を理解する ・消費者余剰を求める ・消費者にとっての効用最大化条件を理解する ・個人の需要曲線から市場の需要曲線を求める 	20-24
第3章	4回	供給曲線の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・供給関数と供給の価格弾力性を理解する ・生産費用の概念を知る ・固定費用と可変費用の概念を知り、供給における短期と長期を理解する 	28-32
	5回	短期と長期の費用曲線	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の構造とさまざまな費用曲線の特徴を理解する ・限界費用の概念を知る ・短期と長期における費用曲線の構造理解する 	33-37

第3章	6回	利潤極大化行動と生産者余剰	<ul style="list-style-type: none"> ・完全競争の意味を理解する ・利潤極大化行動についての基本的な考え方を理解する ・供給曲線を導き、生産者余剰の概念を知る 	38-42
	7回	損益分岐点、操業停止点と供給曲線	<ul style="list-style-type: none"> ・生産費用と収入の関連から損益分岐点と操業停止点の意味を理解する ・限界費用曲線が供給曲線となることを理解する ・産業の長期均衡について理解する 	43-48
第4章	8回	無差別曲線	<ul style="list-style-type: none"> ・無差別曲線の意味するところを知る ・無差別曲線の基本的性質を知る ・消費者の選好と無差別曲線の形状について理解する 	52-57
	9回	限界代替率	<ul style="list-style-type: none"> ・予算制約線を求める ・予算制約下での消費者の効用最大化を探る ・限界代替率と価格比との関係を理解する 	58-62
第5章	10回	需要の所得弾力性	<ul style="list-style-type: none"> ・所得の変化はモデルの中でどのようにあらわさせるのかを知る ・需要の所得弾力性という概念を理解する ・財の性質によって需要の所得弾力性が異なることを知る ・各財の価格変化がもたらす影響を考える 	66-70
	11回	所得効果と代替効果	<ul style="list-style-type: none"> ・価格比の変化にともなう需要の変化を考える ・所得効果と代替効果を理解する ・代替財と補完財の違いを知る ・異時点間の消費選択と貯蓄の決定過程を理解する 	71-75
	12回	労働供給の理論	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の労働時間がどのように決まるのかを理解する ・賃金や物価水準の変化が労働供給に与える影響を知る ・労働供給曲線の導出過程とその性質を知る ・非勤労所得の増加が労働供給に与える影響を知る 	76-80
第6章	13回	生産関数と企業行動	<ul style="list-style-type: none"> ・生産関数の概念を理解する ・生産要素間の代替関係と生産性の関係を知る ・等量曲線の性質を理解する 	84-88
	14回	費用最小化行動と拡張経路	<ul style="list-style-type: none"> ・費用を最小化する投入量の組み合わせを考察する ・生産要素価格変化の影響と生産要素需要について理解する 	89-93

			・拡張経路の概念を理解する	
第7章	15回	ボックス・ダイアグラム	<ul style="list-style-type: none"> ・一般均衡分析と部分均衡分析の違いを知る ・ボックス・ダイアグラムを理解する ・パレート最適を理解する 	96-101
第8章	16回	独占の理論	<ul style="list-style-type: none"> ・限界収入曲線の意味を理解する ・独占市場における均衡を理解する ・独占によって発生する社会的損失を理解する 	104-108
	17回	独占価格とマークアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・完全競争市場と独占市場の均衡の違いを理解する ・マークアップ比率について理解する ・買い手独占について理解する 	109-113
	18回	独占理論の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・価格差別について理解する ・独占的市場の均衡について理解する ・屈折需要曲線について理解する 	114-118
	19回	寡占の理論	<ul style="list-style-type: none"> ・寡占の理論について理解する ・複占モデルのうちのクールノー解について理解する ・複占モデルのうちのシュタッケルベルグ解について理解する 	119-124
第9章	20回	市場の失敗をもたらす外部性、公共財と費用逡減産業	<ul style="list-style-type: none"> ・外部性、公共財、費用逡減産業という経済用語の意味を理解する ・財の性質としての非排除性、非競争性という概念を知る ・市場の失敗に対処する政府の役割について考える 	128-132
	21回	外部性による市場の失敗、外部性の内部化と所有権	<ul style="list-style-type: none"> ・外部性の存在が市場経済の効率性を損なうメカニズムを知る ・市場経済の効率性を回復する外部性の内部化という概念を知る ・コースの定理を知り、所有権の重要性について理解する 	133-137
	22回	公共財と共有財	<ul style="list-style-type: none"> ・公共財の存在が市場経済の効率性を損なうメカニズムを知る ・公共財を供給する政府の役割と民主主義との関係を考える ・共有財におけるコモンズの悲劇と資源環境問題との関係を知る 	138-141
	23回	費用逡減産業	<ul style="list-style-type: none"> ・費用逡減産業の意味するところを確認する ・費用逡減産業による市場の失敗と政府の役割について理解する ・限界費用価格原理、平均費用価格原理、二部料金制について知る 	142-146
			・経済的行動をとらえるゲーム理論の基本的考え方を知る	150-154

第10章	24回	ゲーム理論の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・利得行列、ナッシュ均衡、戦略型ゲーム、展開型ゲームなど、ゲーム理論の基本用語の意味を理解する 	
	25回	国際経済学の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易を通じて得られる利益を理解する ・自由貿易が双方に利益をもたらすことを知る ・絶対優位と比較優位の概念を学ぶ ・国際分業と貿易パターンの形成プロセスを理解する 	155-159
	26回	不完全情報の経済学	<ul style="list-style-type: none"> ・不完全情報の意味するところを考える ・情報の非対称性をもたらす逆選択、モラル・ハザードを理解する ・情報の非対称性による弊害の軽減策を考える 	160-164